

研究情報公開

研究課題名	人工呼吸器装着中の患者の RASS が+1 以上に転じた際の救命 ICU 看護師の臨床判断とその影響要因
概要 (目的・対象・方法)	<p>【目的】人工呼吸器装着中の患者の RASS が+1 以上に転じた際の当院救命 ICU 看護師の臨床判断と臨床判断に影響する要因を明らかにすることを目的とする。これらを明らかにすることで、臨床判断能力向上の為に必要な教育の示唆を得られると考える。また臨床判断に影響する要因を明らかにし、影響要因を調整する。これにより、よりよい臨床判断へと繋がれると考える。</p> <p>【対象】救命 ICU 病棟でリーダー業務を行っている看護師を対象とする。</p> <p>【方法】質的記述的研究の手法を用いて行い、半構造化面接によりデータを収集する。データ分析は、研究対象者毎の録音データから逐語録を作成し、人工呼吸器装着中の患者が覚醒し RASS が+1 以上に転じた際に行った臨床判断に関する内容を抽出しコード化を行う。コード化した内容を対象者毎に Tanner (2006) の臨床判断モデルの背景、気づく、解釈する、反応する、行為中の省察、行為後の省察をもとに分類しカテゴリ化を行う。さらに研究対象者の全てを含めた全体分析を行い、再度カテゴリ化を行う。カテゴリ間の意味内容が不動となった時点で分析を終了する。</p>
期間	・期間は東京医科歯科大学統合教育機構倫理審査委員会承認後から 2024年 10 月まで。
個人情報の取り扱い	<p>研究データは個人が特定されないよう各研究対象者にアルファベットを割り付け、アルファベットにて管理する。</p> <p>研究協力者が想起する患者に対する個人情報の保護として、インタビューの際には患者名を出さずに語ってもらうよう依頼する。万が一患者名が出た際には逐語録の時点で匿名化を行う。データ分析および研究発表の際には、患者個人が特定されないような形でデータを公表する。</p>
研究成果の公表	研究結果は、クリティカルケア分野の学術集会で公表することにより、研究結果を還元する予定である。公表の際は、個人や施設が特定されないよう配慮する。また、研究成果を論文にまとめクリティカルケア分野の学術誌に投稿し研究結果を還元する予定である。
問い合わせ先	<p>東京医科歯科大学病院 救命救急センター</p> <p>研究責任者: 山田 知世</p> <p>住所: 〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45</p> <p>電話: 03-5803-4783</p>